

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17H06110	研究期間	平成29(2017)年度 ～令和3(2021)年度
研究課題名	巨大複雑天然物群の網羅的創出による未踏創薬モレキュラスペースの開拓	研究代表者 (所属・職) (令和2年3月現在)	井上 将行 (東京大学・大学院薬学系研究科 (薬学部)・教授)

【令和2(2020)年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、巨大複雑天然物の全合成を可能にし、巨大複雑天然物の構造を基盤とした新たな創薬ケミカルベースを開拓するとともに、天然物を凌駕する高活性・高選択性を有する人工類縁体を創出することを目的とするものである。</p> <p>これまでに、重要な生理活性を示すテルペン系や核酸系の複雑天然物合成及びペプチド系の巨大複雑天然物合成において、独創的な高効率合成法を駆使することで創薬に向けての類縁体群の網羅的合成を可能にしている。これにより得られた類縁体ライブラリーの活性評価を行い、構造と活性発現の要件の解明を行っている。これらの研究成果を著名な論文誌や学会で発表するだけでなく、プレス発表も積極的に行い、社会にも分かりやすく発信している。今後、生命化学系の研究者との共同研究を更に広げることで、本研究の一層の進展が期待できる。</p>		